独立行政法人日本スポーツ振興センター
令和 6 年度第 3 回契約監視委員会審議概要

１　開 催 日

令和 6 年 11 月 27 日（水）15 時 00 分～16 時 30 分

２　開催場所

外苑事務所大会議室 1（Web 会議システム併用）

３　出席委員（敬称略）

委員長　相葉　和良（弁護士）
委　員　宮本　和之（公認会計士）
委　員　児玉　進矢（監事）
委　員　大橋　玲子（監事）

４　議　　題

（１）令和 6 年度契約案件（令和 6 年 4 月～令和 6 年 9 月）の事後点検について
（２）その他

５　審議概要

（１）令和 6 年度契約案件（令和 6 年 4 月～令和 6 年 9 月）の事後点検について

審議対象期間における契約案件 46 件のうち、以下の 10 件（新規一者応札案件 6 件、競争性のない随意契約 4 件）を抽出し、競争性の確保に関する点検を行った。

No.	件名
1.	災害共済給付資料管理システムの更改整備
2.	国立代々木競技場フットサルコートにおけるキャッシュレス決済業務
3.	国立代々木競技場第一体育館スタッキングチェアの調達
4.	令和６年度ハイパフォーマンススポーツセンター入退室管理システムの保守業務
5.	X 線断層 TV 装置の購入
6.	パリ 2024 オリンピック・パラリンピック競技大会に係る映像分析用パソコン等の賃貸借
7.	令和６年度における「パリ 2024 大会におけるサポート拠点」運営支援業務の委託
8.	スポーツ振興くじ事業における広告宣伝・広報業務（令和 6 年度 スポーツ振興くじ広告宣伝・理念広報施策の実施）
9.	スポーツくじ販売払戻システム更改に係るスポーツくじオフィシャルサイト（情報サイト・ＧＲＯＷＩＮＧサイト）接続テスト及び移行作業の実施
10.	スポーツくじ販売払戻システム更改に係るマーケティングツールの接続テスト及び移行作業の実施

審議の結果、資料の追加提示による確認も含めて全て問題なしと了承された。
なお、委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

◆契約件名：災害共済給付資料管理システムの更改整備

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	競争入札において応札者が一者のみ

（質問）応札者以外の辞退理由として「仕様書の条件を満たすソフトウェアを入札までに選定することが難しい」とあるが、入手困難なものなのか。

（回答）一般的な文書管理ソフトウェアを要件としており、多数のソフトウェアで対応可能な要件としている。2 者以上から提案は受けていたので、選定が難しいものとは考えていない。

（質問）結果的に一者応札となった要因についてどう考えているか。

（回答）クラウドサービスにシフトしている中で、オンプレミスでの構築としたこと、ソフトウェアと合わせてサーバー機器の調達も含めていたことなどが影響した可能性はあると考えている。

（質問）現行機器導入から 5 年以上経過とのことだが、本契約相手方は前回と同一の業者か。

（回答）前回は機器更新のみの調達で、今回はソフトウェアと機器をあわせて調達したことから異なる業者となった。

（質問）災害共済給付システムの更改にも対応できる仕様となっているのか。

（回答）ソフトウェアについてはクラウド移行が可能な製品とするよう仕様に定めている。

◆契約件名：国立代々木競技場フットサルコートにおけるキャッシュレス決済業務

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	90.94%	競争入札において応札者が一者のみ

（質問）取扱ブランドに関わらず、手数料率を同一とするのはなぜか。

（回答）ブランド毎の利用割合などのデータを分析することができなかったことから、仕様を固める段階で使用見込みを立てることが難しかったためである。

（質問）手数料率を一定とすることで、本契約の手数料率と実際のブランド毎の手数料率に差異が生じるリスクが業者側に発生する可能性があるということか。

（回答）そのとおりである。

（質問）仕様には予定数量を載せているが、どのように積算しているのか。

（回答）予定数量は過去実績をもとに記載したものである。

（意見）数量の信ぴょう性の観点から、仕様書中にその旨を記載するとより分かりやすいと思われる。

（回答）承知した。次回以降は追記する。

◆契約件名：国立代々木競技場第一体育館スタッキングチェアの調達

契約種別	落札率	留意する点検事項
消耗品	89.42%	競争入札において応札者が一者のみ

（質問）製品指定が必要だったのか。

（回答）既存の物品と連結する必要性があり、同一のものを揃える必要があったことから、製品を指定した。

（質問）取扱業者は限られるのか。

（回答）入札手続き前に複数社から見積書は徴取しており、1 者しか取扱っていない製品ではないものと考えている。

◆契約件名：令和６年度ハイパフォーマンススポーツセンター入退室管理システムの保守業務

契約種別	落札率	留意する点検事項
保守	94.88%	競争入札において応札者が一者のみ

（質問）このような保守はシステム設置業者以外の参入は難しい印象があるがそのようなことはないか。

（回答）現実的には難しいとは考えられるが、参入余地がないわけではないことから入札としているものである。

（質問）この案件は新規に一者応札となったものなのか。

（回答）確認して後ほど回答させていただく。

＜確認後回答＞

本保守業務については、例年前年度末までに翌事業年度の年間契約を締結していたが、令和 6 年度については、施設工事の影響で、本件仕様確定に時間を要したため、契約締結時期が令和 5 年度中に間に合わず令和 6 年度となったことにより、令和 6 年度の新規１者応札として抽出してしまったものである。

◆契約件名：X 線断層 TV 装置の購入

契約種別	落札率	留意する点検事項
備品	71.89%	競争入札において応札者が一者のみ

（質問）この装置は汎用品をカスタマイズするような仕様か。

（回答）一般的な製品仕様でありカスタマイズを要するものではない。

（質問）例示品を二つ示しているが、この他にも製品はあるのか。

（回答）調達依頼部門として二つあることは確認しているが、その他にあるのかは確認できていない。

◆契約件名：パリ 2024 オリンピック・パラリンピック競技大会に係る映像分析用パソコン等の賃貸借

契約種別	落札率	留意する点検事項
備品	90.25%	競争入札において応札者が一者のみ

（質問）応札者以外の辞退理由として、「タブレット型 PC の確保が難しい」とあるが、特殊な仕様のものだったのか。

（回答）一般的な仕様であり、入手困難なものではないと認識している。

（質問）なぜ発注見通しを掲載しなかったのか。

（回答）パリでの使用を想定した調達であるが、現地の利用環境が直前まで決まらなかったことから、事前に示すことが難しかったためである。

◆契約件名：令和６年度における「パリ 2024 大会におけるサポート拠点」運営支援業務の委託

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	少額随契を除く随意契約のうち競争性のないもの

（質問）令和 5 年度に総合評価による競争入札を実施しているとのことだが、昨年度の応札者数を教えていただきたい。

（回答）2 者応札であった。

◆契約件名：スポーツ振興くじ事業における広告宣伝・広報業務（令和 6 年度 スポーツ振興くじ広告宣伝・理念広報施策の実施）

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	少額随契を除く随意契約のうち競争性のないもの

（質問）落札業者以外が参入することはあるのか。

（回答）本役務契約のベースとなる基本契約の公募時は 2 者応札があり、また、前期間の基本契約の相手先は今回の相手とは別の業者である。

◆契約件名：スポーツくじ販売払戻システム更改に係るスポーツくじオフィシャルサイト（情報サイト・ＧＲＯＷＩＮＧサイト）接続テスト及び移行作業の実施

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	少額随契を除く随意契約のうち競争性のないもの

◆契約件名：スポーツくじ販売払戻システム更改に係るマーケティングツールの接続テスト及び移行作業の実施

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	少額随契を除く随意契約のうち競争性のないもの

※上記 2 件は相互に関連する案件のため、まとめて審議

（質問）契約金額は違うものの、作業スケジュールが同一だが、工数の違い等の検証はどのように行うのか。

（回答）前回のシステム更改時に実施した改修対応の工数をベースに確認している。また、スポーツくじの経営コンサルタントのシステム担当にも妥当性について確認いただいている。

（２）その他

委員からの意見等は特になし。